

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	乗用車販売店 （経理担当）	販売量の動き	・新車の受注が良くなっている。
	変わらない	百貨店（営業担 当）	販売量の動き	・今年度の売上高の減少幅は前年度に対して約1割減で推移しており、全体的な売上高の傾向は今月も変わっていない。内訳では、季節の変わり目で衣料品に若干の回復がみられるものの、家庭用品や書籍、美術工芸などでの低迷がみられる。
		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・観光客の減少と、市役所の移転による来客数減がまだ大きく響いている。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・寒くなればホット商材が売れるし、前年売れて今年売れなくなった商品に替わる物があればそれが売れる等、必要な物は売れる。客単価が前年並みで推移していることからみても、無駄使いしないで予算内で決めた物を買う傾向が当たり前になっている。ポジョレーヌーヴォーの販売数が毎年下がっているのも無駄を省いた結果である。
		衣料品専門店 （経営者）	単価の動き	・来客数、購入点数、共に前年と比べてあまり変わらないが、単価が1割ほど下がっている。
		その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・売上は底を打ったのか、減少から横ばいになりつつある。不採算部門は整理したので、現状維持を保ちながら新規事業と社員のモチベーションの向上協力の下で売上アップを目指す。
		住宅販売会社 （商品開発担 当）	来客数の動き	・来客数や問い合わせ件数が少なくなっており、その結果業績が良くない方に行っている。
	やや悪く なっている	スーパー（販売 企画担当）	単価の動き	・競合店各社とも価格攻勢を行っており、単価はますます安くなっている。赤字覚悟の特売品については、チラシの配布数を限定するなどの対応が増えてきている。客の価格志向は一段と強くなっている。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・雑誌や本の立ち読みをする客も減っており、客単価、来客数も減っている。
		その他専門店 〔書籍〕（店 長）	販売量の動き	・ここ最近ではテレビで紹介された本が主に売れているが、その他の新刊本や既刊本などの売行きは芳しくない。今まで定期的に使われていた雑誌等も、中身を確認して面白そうな記事があれば買うといった傾向に変わってきている。
		旅行代理店（代 表取締役） 通信会社（店 長）	単価の動き 販売量の動き	・旅行代金、航空券代金もデフレ傾向で料金値下げが続いている。 ・今月後半より新商品の発売をしているが、初動は良かったが継続した動きが無く活性化していない。商品が大変高額になっているので、よほどの動機が無い限り購買に結び付かず、販売数の前年比でも40%減となっており非常に苦しい状況である。
	悪く なっている	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	来客数の動き	・近くの市役所の建て替え移転、政府のデフレ宣言で、平日の来客数が例年に比べ、30%ダウンしている。外商活動を前年の2倍以上しているが、なかなか効果が出てこない。
観光型ホテル （総支配人）		来客数の動き	・宿泊客数は、3か月前比で51%、前年同月比で54%の大幅な減少が見られる。新型インフルエンザへの警戒感はわずかだが、経済状況の悪化が及ぼす観光マインド低迷は長期化しそうである。グループ旅行は激減している。	
観光型ホテル （マーケティング 担当）		販売量の動き	・依然、3か月前と比べると稼働率・販売量の前年差が広がってきている。単価に関しては何とか前年並みを保っているものの、稼働率・販売量を上げることができず、収入面においても厳しい状況となっている。	
観光名所（職 員）		来客数の動き	・3か月前は前年同月比で9割台、今月は前年同月比で8割前半、前々年比では7割台にまで落ち込んでいる。沖縄観光はますます厳しい状況になっており、特に一般団体客の減少が目立つ。来園者は修学旅行が中心である。	

企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の申込及び契約件数が増加している。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・家電系の物量についてはエコポイント制度や県内の大型量販店のオープンに伴い堅調に推移している。しかし、コンビニ・百貨店・スーパーマーケットなどについては物量が増えてくる時期にもかかわらず前年ほどではない。建築関係は若干物量が増えている。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・公共工事関連では、離島の空港やダム関係が影響しており活発である。民間関連は振るわない。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の工事物件が減少しており、大型工事が無い。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注案件が少ない。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・観光業については客数の前年比減が続いている。観光関連企業では収益の落ち込みが大きい。
	やや悪く なっている			
	悪く なっている	-	-	-
	雇用 関連	良く なっている	-	-
やや良く なっている		-	-	-
変わらない				
やや悪く なっている		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣契約更新時において、スタート時点では長期で続く予定だったものが、契約終了となるケースが幾つか出てきている。目標の修正も考えねばならない状況である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人広告の掲載件数が前月より約20%程減少している。広告出稿の案内をしても「年内は増員や欠員補充をせず、今の社員でこなししていく」と答える企業が多い。年内に人員整理をしなければ年を越せないという企業もある。厳しい状況は変わっていない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・完全失業率は7.1%で、前年同月比で0.9ポイント低下している。求人数が減少傾向のなか、求職者の意識変化が表れており、「希望するところではなくてもまずは就職」ということで就職件数が増加している。
悪く なっている		-	-	-